

# 個人の移動にかかるCO<sub>2</sub>排出量の「見える化」による地域交通の低炭素化に向けた基盤構築事業

〒910-0004  
福井県福井市宝永4丁目13-4  
電話:0776-30-0092  
http://ecoplanf.com/



ひろげる助成  
**3年目**  
実践



アプリが移動手段を判別する正答率	90%
アプリ利用者	866人
今年度計画の達成度	70%
活動の全体目標に対する達成度	70%

## 苦労した点と工夫した点



### ■ 苦労した点

本アプリケーションのユーザ数が不足していたため、集積データの利用(インフラ整備計画等への有効利用)に苦労した。

### ■ 工夫した点

大学、高専、行政、NPO等による協議会を設置し、活動の進捗状況管理と成果の実現に向けた助言を得た。

## 課題

過度に車に依存することにより、CO<sub>2</sub>排出量が増加する一方、足腰が弱ることによる健康寿命の短縮化、高齢者の運転による交通事故の増加などの課題が生じている。

## 目標

個人の移動手段を識別し、移動に係るCO<sub>2</sub>排出量を「見える化」すなわち自動的に集計し、所有者に通知するスマートフォン用アプリケーションを開発する。

## 活動内容と成果

スマートフォンに搭載されている加速度センサー及びGPS機能を活用し、個人の移動手段を識別し、移動に係るCO<sub>2</sub>排出量を「見える化」すなわち自動的に集計し、所有者に通知するスマートフォン用アプリケーションを開発し、一般に配布した。

アプリの実用性や意識調査を検証するため、福井県鯖江市を中心として参加モニターを募集し、集まった457人(実証実験終了時点)のモニターを対象に実証実験を実施した。

実証実験の結果、すべての移動手段について9割以上の正答率で判別できた。



CO<sub>2</sub>総排出量のグラフ表示

## 全助成期間の活動を振り返って

個人の移動に伴い排出されるCO<sub>2</sub>量を実測値に基づき「見える化」するアプリを一般に配布し、全国初の新しい手法での低炭素なまちづくりに向けた基盤づくりを全国に発信できた。また、平成28年9月～平成30年2月のユーザの二酸化炭素排出量、自動車走行距離等を取得し、分析することができた。今後も引き続き、分析より得られた指標を活用して、時期を狙った地球温暖化対策を行っていききたい。



評価詳細画面

## 今後の展望

アプリの活用はそのまま継続し、すでに問い合わせを受けている県内外の自治体への対応をすすめていく。